

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	イー・ステージ株式会社					
代表者名	氏名	鈴木 宏信	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	長野県小諸市大字平原309番地1					
主たる事業の分類	大分類	R サービス業（他に分類されないもの）				
	中分類	88 廃棄物処理業				
主たる事業の概要	一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬、中間処理及び最終処分					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	1722	1670	1559	1568	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	3999	3879	3542	3556	
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0	0	
自動車の台数	台	57		67	63	
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	1856				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度	計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 30 年度		

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	管理部 事務所により営業時間内（8：30～16：00）閲覧可能 連絡先（0267）25-8886
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号  
(総括票)

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

ISO14001の行動計画により環境目標（燃費 t/kℓ）を定め進捗管理を行う

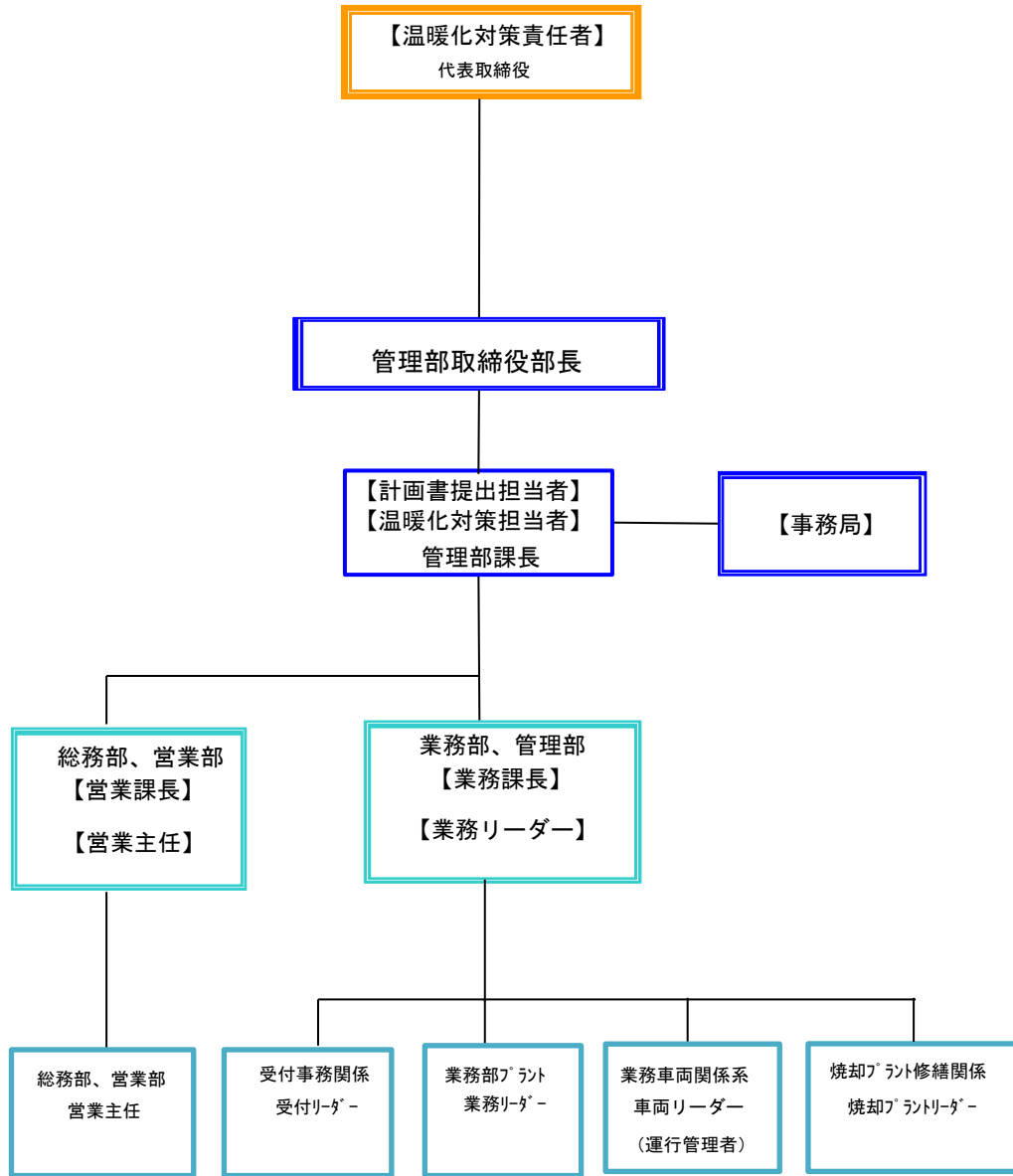
#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

ISO14001の組織と同じ組織で対応（別紙1参照）

#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

事業推進会議 月1回

# 温室効果ガス排出抑制組織



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,999	t-CO <sub>2</sub>	処理量	15.8	単位	千 t	
28 年度	調整後排出量	5,116	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	253.10	t-CO <sub>2</sub> /	千 t	
目標年度	目標排出量	3,879	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	245.50	t-CO <sub>2</sub> /	千 t	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
31 年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	平成28年度の排出量を基準に設定し、平成31年度に3%の削減を計る。少ない排出量で多くの処理を行う事(燃費の向上)を目標とする。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	3,542	t-CO <sub>2</sub>	処理量	14.77	単位	千 t	
	調整後排出量	3,822	t-CO <sub>2</sub>	原単位	239.81	t-CO <sub>2</sub> /	千 t	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
29 年度	削減率	11.42	%	削減率	5.25	%		
排出量等の増減理由	処理量は少なかったが効率よく焼却施設を運転できたため助燃のための灯油量が削減できた。							
第二年度	排出量	3,556	t-CO <sub>2</sub>	処理量	15.75	単位	千 t	
	調整後排出量	3,540	t-CO <sub>2</sub>	原単位	225.78	t-CO <sub>2</sub> /	千 t	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
30 年度	削減率	11.07	%	削減率	10.79	%		
排出量等の増減理由	処理量が増えたが、灯油の使用量は減ったため。							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	処理量		単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
31 年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	1856	t-CO <sub>2</sub>			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	-1117		-280	16	
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上			0					
1,500k1以上 3,000k1未満			0					
1,500k1未満	2	3,999	2	3,542	2	3,556		
合計	2	3,999	2	3,542	2	3,556		

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
CH <sub>4</sub>				
N <sub>2</sub> O				
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
NF <sub>3</sub>				
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	
電気自動車	0	0	0	
燃料電池自動車	0	0	0	
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	
その他 (ハイブリッド等)	0	0	0	
合計	0	0	0	0
自動車総数	57	67	63	
次世代車導入割合				



様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	特になし（マイカー通勤率99.9%）
公共交通機関の利用促進	出張等の際にはJRを使うなどの呼びかけを行っている。
来客者の交通対策	ホームページやパンフレットに最寄り駅の記載と交通手段を記載している
物流の合理化	往復で荷が積むような配車を心掛けている

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	平成22年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	廃棄物の特性を見極めた受入を行い、また攪拌を行うことにより燃焼物を出来るだけ均一化して時間当たりの処理量を増やしたり、燃焼効率を良くして灯油使用量の削減に取り組んだ。
第一年度実績	廃棄物の特性を見極めた受入を行い、また攪拌を行うことにより燃焼物を出来るだけ均一化して時間当たりの処理量を増やしたり、燃焼効率を良くして灯油使用量の削減に取り組んだ結果が良い方向にでたため。また、設備の修理の効果が行現れたためとも思われます。
第二年度実績	前年同様に、廃棄物の特性を見極めた受入を行い、攪拌を行うことにより燃焼物を出来るだけ均一化して時間当たりの処理量を増やしたり、燃焼効率を良くして灯油使用量の削減に取り組んだ結果や運転員のスキルが向上したためと思われます。
第三年度実績	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	高圧モーターの更新やトランスの見直しを行った。デマンド監視も行い最大電力の引き下げ等も行った。	
その他		